

叡山電車開業 **100** 周年記念

叡山電車・京都芸術大学・京都精華大学
三者連携事業

未来の

えい

いでん

アートプロジェクト

京都芸術大学と
京都精華大学の
学生たちが叡山電車と
コラボ！

特別出品

中野裕介／パラモデル
副産物産店

2025年
10月25日(土)
—12月7日(日)

叡山電車各所にて開催

会期中無休 | 開場時間: 初発から終発まで (貴船口駅待合室「令月」は10:30-16:30)

観覧料: 無料 (会場までの交通費は別途必要)

作品の詳しい展示場所は「100周年特設サイト」または会期中に配布するマップでご確認ください

主催: 叡山電鉄株式会社 共催: 京都芸術大学、京都精華大学

助成: 京都未来人材育成プロジェクト事業費補助金、京都精華大学学長指定課題研究費



えいでん



KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS

学校法人 瓜生山学園
京都芸術大学

京都精華大学
KYOTO SEIKA UNIVERSITY

叡山電車では、沿線の京都精華大学、京都芸術大学と包括連携協定を締結し、両大学の特色を活かしつつ、芸術を通じての地域活性化や、人材育成、文化振興を推進し、沿線の魅力向上に貢献していく取り組みを行っています。

開業100周年となる本年は、鞍馬地区を舞台とした「鞍馬の活性化」、当社線全線を舞台とした「未来のえいでん」の2つの事業を両大学と共に行います。これは、開業以来100年間の文化や歴史を顧みながら、未来へ向けて希望や可能性を象徴するメッセージを発信するものです。

未来へと続く地域の歩みにつなげ、多くの人々に愛され、地域と共に成長してきた歴史を改めて伝え、次の100年に向けた思いを共有したい。そういった思いを両大学と共有し、叡山電車のホームや待合室、看板枠などを舞台に両大学の学生が作品を発表。駅や周辺地域の魅力を感じ取り、各々のリサーチ成果や利用者に感じてもらいたいメッセージを作品に込めて展示します。また特別出品として、両大学の教員でもあるアーティスト、中野裕介／パラモデル（学生7名とチーム参加）と副産物産店も新作を発表します。

展示されている作品は、すべてが力作ぞろいです。「『未来のえいでん』作品を訪ねる叡山電車の旅」を、ぜひお楽しみください。

100周年特設サイト

主な駅から出町柳駅へ



作品の詳しい展示場所は「100周年特設サイト」または会期中に配布するマップでご確認ください

お問い合わせ：

叡山電車総務部 | TEL: 075-702-8110

コラム：叡山電車の100年

1925年9月27日、叡山電鉄株式会社の前身である京都電燈株式会社から叡山平坦線（現在の叡山本線）を出町柳駅～八瀬（現：八瀬比叡山口）駅間で開業。この路線は、洛北の観光開発、比叡山延暦寺への参拝需要を見込み、計画されました。1927年には京都電燈株式会社と京阪電気鉄道株式会社の合併会社である鞍馬電気鉄道株式会社が設立され、1929年に山端（現：宝ヶ池）駅～鞍馬駅間が全通するとともに、山端駅から出町柳駅までの乗り入れが開始され、現在の叡山電車の路線が完成。戦争や経営環境の変化、自然災害など数々の困難を乗り越えて、地域に根ざした交通機関として歩みを続けてきました。



京都芸術大学

学生アーティスト

京都精華大学

岡本はな、川添裕牙、坂本龍王、
杉崎純也、中島優斗、西村百葉、東 似子、
石橋奏良、宇都宮心春、北御門宗太郎、
首藤姫梨、杉野環弥、野崎亜紀、林 柚良、
樋口希颯、兵頭希乃風、前側遥香、
定宗爽介、松森弘明、伊勢日和、
丹羽陸也、帆士希匡、西村彩乃、
HAN YUFAN、木村友俐、前川佳奈美、
八尾小百合、渡邊彩心、上終歌会、
佐伯佳蓮、猪本倅汰、中馬雄一郎

イラスト学科チーム（大虫紅葉、奥 海里南、
木山 澤、兵藤美月、吉田芽生、吉田桃子）、
榎園あすか、坂口静香、鈴木大山と
陶芸専攻の仲間たち、田中夏芽、
フォック チン、辻 大輝、中島幹太、
中野チーム [ホン ウォンヒョン、岡澤 武、
坂本萌々、藤本和久、山本万柚子、柳 沙奈、
脇田舜生]、Ba Yuhan、古島百花、
嶺川観音子、MOTOCA、安井杏樹、
莉山、渡邊 勇（五十音順）

副産物産店

Byproducts Market
（京都芸術大学教員）

特別出品

中野裕介／パラモデル

Yusuke Nakano / PARAMODEL
（京都精華大学芸術学部教員）



2017年に芸術大学のゴミ捨て場をめぐるプロジェクトをきっかけとして、山田毅（只本屋）と矢津吉隆（kumagusuku）の二人の“店”を表現媒体とする美術家によって結成されたアートユニットでありアートプロジェクト。アーティストのアトリエから出る廃材を“副産物”と呼び、それらを活用・流通させるなかで、物の価値を問い直す活動を展開。展覧会やイベント出店、ワークショップのほかに、大学や行政、企業と連携した資材循環の仕組みづくりを行っている。

《副産物産店 有楽町店》2020

「ソノアイダ # 有楽町」での展示風景（国際ビルディング／東京）



1976年 東大阪生まれ。2002年 京都市立芸術大学大学院 絵画専攻（日本画）修了。03年同大学の林泰彦とユニット「パラモデル」結成。メタフィジカルな「模型遊び」をテーマに、鉄道玩具「プラレール」を用いた大規模なインスタレーションなど、多様な形式の作品を発表。11～17年の図書館勤務を経た現在のソロ活動では、描画やテキスト・空間表現を軸に、文学・哲学・マンガ・建築・郷土文化・古典芸能など、古今の書物を横断し、題材とする創作を続ける。

《水底の□△、犬畜生たちの、あったかもしれないPの話》2025

「小津鉄道開業100周年記念展 古往今来・発車オーライ」展示風景（市原湖畔美術館／千葉）
photo: 木奥恵三 | ©Yusuke Nakano / PARAMODEL 2025 | Courtesy of MORI YU GALLERY

運営メンバー

河田 学、高橋耕平（以上、京都芸術大学教員）、
浅茅之博（京都芸術大学 社会実装支援課）

吉岡恵美子、米本昌史（以上、京都精華大学教員）、
関口正春（京都精華大学 学室グループ）

関連イベント

叡山電車の軌跡をたどる「開業からのあゆみ」展

（開催中）12月4日（木）まで、10時—18時

KUZUHA MALL SANZEN-HIROBA（くずはモールさんぜんひろば）

会場へは京阪電車「樟葉駅」下車

※諸般の事情により会期・会場・内容等が変更になる場合があります。最新情報は叡山電車ホームページ100周年特設サイトでご確認ください。